



# 実践シンポジウム

—地域包括ケアを精神障がい者の地域生活に拡げるに  
あたってプライマリ・ケア医療機関は何ができるか—



**日時**：平成30年1月20日（土）14：00～16：00

**場所**：岡山県医師会館 4階 401会議室（岡山市北区駅元町19番2号）

**参加費**：会 員（岡山プライマリ・ケア学会、岡山県医師会）…無料  
非会員…¥500 ※当日、受付時にご用意ください。

**対象**：会員（岡山プライマリ・ケア学会、岡山県医師会）及び会員以外のどの職種の方もご参加いただけます。

## プログラム

- ◆ **問題提起**（14:00～14:10） 岡山市保健所 松岡宏明
- ◆ **講演1**（14：10～14：40）〈日医生涯教育講座 カリキュラムコード11／0.5単位〉  
「精神障がい者のがん検診をはじめとした保健サービス利用状況」  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室 藤原雅樹 先生
- ◆ **講演2**（14：40～15：20）〈日医生涯教育講座 カリキュラムコード68／0.5単位〉  
「精神症状・精神疾患を有する方のプライマリ・ケアと精神科連携」  
地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター 院長 来住由樹 先生
- ◆ **解決へ向けた対話**（15：20～16：00）〈日医生涯教育講座 カリキュラムコード13／0.5単位〉  
岡山大学大学院 藤原雅樹先生、岡山県精神科医療センター 院長 来住由樹 先生  
岡山プライマリ・ケア学会 福嶋啓祐 会長、岡山市保健所 松岡宏明

高齢者の住み慣れた地域での生活を支える仕組みとして地域包括ケアシステムの構築が進められてきている。こうした生活を支えるシステムは高齢者に限ったものではなく、広く障がい者や子育て、さらには生活困窮者もカバーする包摂的な社会を作っていく過程の一環である。包摂的な社会作りの戦略の一つとしてプライマリ・ケアは提唱された歴史的経過があり、当学会としても、高齢者に留まらない地域包括ケアシステム作りを先進的に発信していきたい。

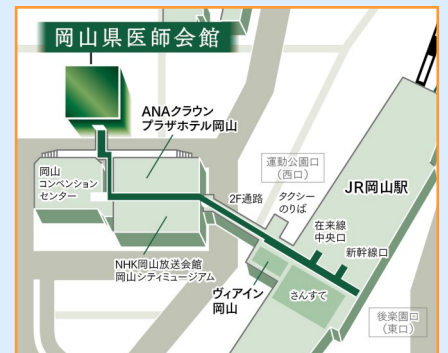
精神障がい者の生活を支える仕組みを考える際に、就労や住宅といった地域定着が高齢者以上に重要になる。しかし、一方で、高齢者には今更言うまでもない保健-医療サービスさえアクセスがままならない現状がある。この現状を振り返りつつ、プライマリ・ケアが果たすべき役割を考えたい。

- ・プライマリ・ケア専門医・認定医更新のための単位2単位
- ・プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位1単位

※岡山県医師会会員専用駐車場は台数が限られておりますので、公共交通機関にてお越しいただけますようお願いいたします。

※託児のご希望の方は1月10日（水）までにお申し出ください。

〈主 催〉岡山プライマリ・ケア学会／岡山県医師会プライマリ・ケア部会  
〈お問い合わせ先〉岡山プライマリ・ケア学会（岡山県医師会内）  
住所：〒700-0024 岡山市北区駅元町19-2  
電話：086-250-5111 FAX：086-251-6622



**参加申込書**（返信先：岡山プライマリ・ケア学会 FAX：086-251-6622）

**「実践シンポジウム」（H30.1.20（土））**

氏名	職種	所属	TEL